



編集者 福島市中町5番21号
 福島県消防会館内
 公益財団法人 福島県消防協会
 電話(福島) (522) 5974
 印刷人 福島市南矢野目字萩ノ目裏1-1
 村山 広一
 電話(福島) (553) 4600

第26回全国女性消防操法大会が開催

福島市消防団女性消防隊 健闘!



令和7年10月28日(火)、第26回全国女性消防操法大会が、総務省消防庁及び(公財)日本消防協会の主催で、神奈川県横浜市内にある横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催されました。

この大会は、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図ることを目的に、軽可搬ポンプ操法の技術を競うべく2年に一度開催されるもので、今年の大大会は44チームが出場し、技術を競い合いました。本県代表の福島市消防団女性消防隊は、競技前、西山敏彦消防協会長、橋本則昭福島市消防本部消防長、菱沼喜雄福島市消防団副団長からの激励の言葉を受け、選手士の士気はいよいよ高まり、駆けつけた応援団からの声援も受け、力一杯の競技を行いました。結果は善戦するも残念ながら入賞にはいりませんでした。



また、前日の激励交流会は、大さん橋ホールで開催され、大沢博消防庁長官、国会議員等ご来賓、消防応援団の方々、消防関係者など約600名が参加

し、意見交換等交流を深めました。消防応援団の山田邦子さんや蝶野正洋さん、横浜市出身の石塚英彦さんらから激励メッセージをいただき、出場選手代表の決意表明も行われ、地域間の絆が深まるとともに、大会での健闘を誓い合いました。

知事表敬訪問

全国女性消防操法大会に先立ち、県代表の福島市消防団女性消防隊が10月9日(木)に県庁を訪問し、内堀雅雄知

- 優勝 千葉県柏市女性消防隊
- 準優勝 福岡県筑後市女性消防隊
- 福島県 福島市消防団女性消防隊
- 東京都 八王子市消防団女性消防隊

大会結果

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

令和7年度全国統一防火標語



福島県消防協会公式HP
<https://zfsk.or.jp>

第31回全国消防操法大会が令和8年10月31日(土)に東京臨海広域防災公園で開催されます。今回、本県代表はポンプ車の部に出場することとなります。

出場順を決める抽選会は、2月27日に日本消防協会で行われ、福島県は12番に決定しました。

なお、本県代表の消防団は、8月30日(日)に行われる第46回福島県消防操法大会の優勝チームとなります。

第31回全国消防操法大会 出場順決定

事には大会出場に向けた意気込みを語りました。

知事との会談の中で、指揮者の宮村たま江さんは「これまで支えていただいた人々に感謝し、チームで力を合わせて最高のパフォーマンスを発揮したい」と抱負を語りました。

なお、西山敏彦消防協会長が同行しました。



令和7年度は、福島市消防団が車両の交付を受けました。

福島市消防団の西山敏彦団長は、「平常時は、各種イベントの他、女性消防隊が積極的にを行っている市内小学校での防火・防災教育等において、車両と併せて交付された防災学習資器材を活用し、より効果的な地域防災意識の向上に努めていきたい。災害時には、広報や現場指揮など多種多様な運用を行い、防災・減災のために活用していきたい」と市民の安全・安心を守るため、様々な場面での有効活用への期待を述べています。



福島市消防団に 消防車両を交付

日本消防協会では、消防団防災学習・災害活動車両交付事業として、防火防災学習や広報活動等に活用できる車両の交付を行っています。

この事業の活動車両は、一般財団法人日本宝くじ協会からの助成事業で、平時は地域住民等に対する防災学習や防災指導に活用し、災害時には緊急車両として人員輸送や資機材搬送などに使用できるものです。

第78回 日本消防協会定例表彰式

第78回日本消防協会定例表彰式は、令和8年3月6日(金)にニッショールで開催されました。

開会式の後、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうが行われ、各種表彰が授与されました。

表彰されたのは、特別表彰「まとい」10団、特別功労章10名、表彰旗34団、竿頭級88団、功績章859名、精績章2058名、勤続章9600名、優良



女性消防隊表彰旗7隊、優良女性消防隊員功績章6名、永年勤続職員表彰5名

で、本県関係の受賞者等は次のとおりです。

- 表彰旗 石川町消防団 泉崎村消防団 昭和村消防団 飯館村消防団

- 功績章 31名

- 精績章 76名

- 勤続章 323名

また、表彰式終了後、講演会が開催され、「これからの消防防災活動の展開について」と題して、神戸大学名誉教授の室崎益輝氏と兵庫県立大学大学院教授の阪本真由美氏から、災害の時代に向き合う地域の防災のあり方や災害対策などお話をいただきました。



令和7年度 消防団員指導員研修

令和7年10月7日(火)・8日(水)の2日間、令和7年度消防団員指導員研修を福島県消防学校で開催しました。研修には、県内15消防団から19名が参加しました。

第1日目は、開講式に引き続き、県危機管理課から、令和7年4月に制定された県防災基本条例の解説と県防災アプリを開発した目的や主な機能などについて説明を受けました。その後、県消防学校講師による「幹部の心得」の講義を受けました。

午後からは、県消防学校講師による「応急手当」として、シーツや衣類を用いた搬送用簡易タンカの扱い方、三角巾を用いた骨折時の固定方法などの指導を受け、続いて「訓練礼式(座学)」を受講しました。



「訓練礼式(実技)」が行われ、午後は、県消防学校講師による「現場指揮」として、現場指揮の重要



性、指揮者の心構えや団員の安全確保について講義を受けました。その後、「消防団の事故対策」として、安全管理の意義、火災現場における安全管理の実践など、安全管理(事故防止)の重要性について講義を受けました。

最後の閉講式では、西山敏彦県消防協会長が研修生一人一人に修了証書と訓練指導員章を授与し、最後に、総代を務めたいわき市消防団の下枝一也分団長が挨拶を行い、研修の全日程が終了しました。

なお、令和8年度から消防団員指導員研修は、県消防学校が実施する幹部教育指導幹部科分団指導課程と合同で実施することにしました。



(機器協会員)

— 総合防災 —

モリタ式消防ポンプ自動車
シバウラ小型動力ポンプ
消防用設備・設計施工・保守点検

株式会社 ホシノ

本社 会津若松市材木町1丁目10-22
TEL 0242-26-5600 FAX 0242-26-5602

郡山支店 郡山市久留米3丁目27番地
TEL 024-945-8999 FAX 024-945-8565

(機器協会員)

ニッキ消防ポンプ

キンパイホース
東部産業株式会社自動車部
シバウラ小型ポンプ

いわき市内郷綴町金谷15番地4
☎ 0246(26)5401

代表取締役 菊池 一 隆

(機器協会員)

— 消防設備総合メンテナンス —

キンパイホース・消火器・避難器具
火災報知設備 スノーラップ
その他消防用品一式

防災機器の御用命は

(有)東北防災センター

代表取締役 夏井 一 樹
本社 福島市入江町5-7
☎024(534)3389

(機器協会員)

総合防災用品、NIKKI式消防車
トーハツ消防ポンプ、キンパイホース
NAホスポール

WADA JIDOHSA CO.,LTD.

和田自動車株式会社

郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地
〒963-0725 TEL 024(943)3400(代)
FAX 024(943)3873

●第30回 全国女性消防団員活性化長崎大会

来んね！平和の街へ 島々へ

未来へ、長崎でつながる女性消防団

令和7年11月13日(木)、長崎県長崎市にある「出島メッセ長崎」で、第30回全国女性消防団員活性化長崎大会が盛大に開催されました。本大会は、全国の女性消防団員が一堂に会して、日頃の活動等を紹介し、団員相互の情報交流等を通じ、女性団員の活動を活性化させることを目的に毎年開催されています。今回は、県内からは17名の参加がありました。

開会式は、大会旗が入場、開会宣言、国歌斉唱が行われ、主催者として大沢博消防庁長官、秋本敏文日本消防協会会長と実行委員会委員長の川上清記長崎



県消防協会会長から挨拶がありました。また、開催地の大石賢吾長崎県知事、柴原慎一長崎市副市長から歓迎の挨拶がありました。

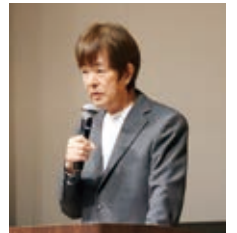
開会式の後は、5つの消防団が緊急連絡カードと心肺蘇生の実体験、防災学習用車両を使用した活動の見直し、女性消防団員地域防災力強化研修、未来につながる消防団活動、今後の女性消防団の活動など様々な活動事例を発表しました。

●活動事例発表(5団体)

青森県五所川原市消防団本団総務分団 岩手県北上市消防団 広島県内の消防団

愛媛県四国中央市消防団 長崎県長崎市消防団

午後からは、記念講演として長崎県平戸市出身で、株式会社ジャパネットたかた創業者の高田明氏から「夢を持ち続け日々精進」と題して、日頃から目標や夢を持ち続け、情熱を持って行動す



ることの大切さをお話しいただきました。続いて、2つの消防団が

「幼児からの防災教育」や地域の幼稚園や保育所で実施している紙芝居と寸劇を組み合わせた「幼児防火教室」を披露しました。

●防火防災啓発劇(2団体)

北海道江別市消防団女性分団 鹿児島県鹿児島市消防団女性分団

続いて、秋本会長をコーディネーターに、事例発表者をパネリストとして、パネルディスカッションが行われました。パネリストからは、女性消防団の活動の取組や課題など発言がありました。

また、会場内では全国の消防団の活動を紹介するブースが設けられ、地元をPRする多くの女性消防団員の姿が見られました。

閉会式では、大会宣言、お礼の言葉、大会旗引継が行われ、次期開催地の北海道消防協会の花田了彰会長が挨拶を述べました。

次回大会は、令和8年9月25日(金)、北海道札幌市で開催されます。福島県の女性消防団の皆さん、ぜひ、ご参加ください。

本県参加団体

福島市消防団、伊達市消防団、石川町消防団、北塩原村消防団、新地町消防団、福島県消防協会相馬支部、福島県消防協会

令和7年度

消防団長等研修会



令和8年2月25日(水)・26日(木)の2日間、郡山市熱海町のホテル華の湯で令和7年度消防団長等研修会を開催しました。今年度は、

県内の消防団長や消防長、市町村職員等約120名が参加しました。

初日は、椎名勉県消防保安課長から「消防団の充実強化について」の講話、境野浩義県消防学校長から「福島県消防学校消防団員教育について」の説明、総務省消防庁消防団等充実強化アドバイザーの上田伸次郎氏から「消防組織におけるハラスメント対策」と題して、講演をいただきました。上田氏は、東京消防庁で方面本部長や人事部長を歴任され、人事部門での長い経験から全国各地で、人事管理やハラスメント対策など講演をされています。講演では、ハラスメント対策の必要性、パワハラやセクハラ

の実例、ハラスメント発生後の対応など、大変参考になる話を語っていただきました。



その後、林監督から製作のきっかけやこの物語に込められた思い、消防団の意義や課題などを語っていただきました。参加者からは、「地域の安全・安心や郷土愛を見直すきっかけとなった。気持ちを新たに消防団活動に取り組みたい。」など、感想が寄せられました。



終了後、福島県議会議員で構成する福島県消防協力議員会と参加者が一堂に会し、情報交換懇談会を開催しました。議員会の方々には、懇談会を通じて、消防団を取り巻く現状や課題などを理解いただき、消防団を中核とした地域の防災力の充実強化に向けて、支援・協力をお願いしました。

翌日は、ものがたり法人Fireworks代表で映画監督の林弘樹氏から「映画『ふるさとがえり』」と題して、生きるか、地域の絆の物語」と題して、講演をいただきました。はじめに、消防団活動と地域のつながりをテーマにした映画「ふるさとがえり」を鑑賞し、

令和7年度 東北地区消防連絡協議会

新潟県で開催



令和7年度東北地区消防連絡協議会が、令和7年11月20日(木)・21日(金)の2日間、十日町市のあ



活性化大会の日程について」の要望事項、「消防団協力事業所の認定業務所に対する優遇措置について」等12項目の照会事項について、活発な意見交換が行われました。

てま高原リゾートベルナティオで開催され、東北6県及び新潟県の各消防協会長、副会長、事務局長等が出席し、要望事項や協議事項について討議が行われました。

第1日目の協議会では、消防殉職者等に対し黙とうを行った後、樋口茂吉新潟県消防協会長の挨拶に続き、新潟県知事(代理) 県防災局長、関口芳史十日町市長の来賓挨拶がありました。

議題の審議に入り、前年度決議された要望事項について、昨年度幹事県の青森県消防協会から、日本消防協会へ要望書を提出した旨の処理報告がなされました。



続いて、各県から提出された議題の討議が行われ、「全国女性消防団員

令和7年度

女性消防団員等研修会

令和7年11月1日(土)、郡山市の福島県農業総合センター多目的ホールで、令和7年度女性消防団員等研修会を開催しました。同研修会は、女性消防団員の活動の活性化と交流の促進につなげるため、毎年開催しています。今年度は、県内の女性消防団員等約50名が参加しました。



次に、県消防保安課の権名勉課長から「消防団の充実強化について」の取組み」と題して、若者や女性の入団促進

研修会は、西山敏彦県消防協会長の挨拶に続き、県危機管理課の佐藤敬課長から「福島県防災基本条例と消防・防災」と題して、令和7年4月に施行された福島県防災基本条例の概要や県の取組について、お話いただきました。次に、県消防学校の工藤裕美専門教務主任が講師となり、カードを利用したグループゲーム「クロスロード」を行いました。このゲームは、災害対応を自らの問題として考え、様々な意見や価値観を参加者同士が共有するもので、単一の正解を求めるのではなく、それぞれの災害対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること、またそのためには災害が起こる前から考えておくことが重要であることを気づかせられました。



(機器協会員)

〈総合防災〉

消火器・シバウラ消防ポンプ・消防ホース・各種消防防災用品・火報設備・避難設備・消防設備保守点検設備

会星産業株式会社

白河市古高山3-138 0248(22)5504

(機器協会員)

各種消防ポンプ自動車メーカー

日本機械工業株式会社 仙台営業所

仙台市青葉区一番町1丁目10番36号 TEL 022-222-8831 FAX 022-223-6660

— 福島県下代理店 —

東部産業(株)自動車部 いわき市(26)5401 和田自動車(株) 郡山市(943)3400

(機器協会員)

会津消防用品株式会社

会津若松市松町2-41 会津若松28515151

(機器協会員)

福島県知事許可

総合防災設備設計・施工・保守点検・消防資材一式・他弱電工事

明和電気防災(株)

福島市上鳥渡沢沢22-3 (024)593-2131

消防川柳「Fire エール 五・七・五」入賞作品決定

仕事をもちながら自分たちの地域を守るため、日夜活動している福島県内の消防団員にエールを贈るとともに、消防団員の活動を広く福島県の人々にお知らせするために、ユーモアあふれる消防川柳「Fire エール 五・七・五」を募集したところ、全国各地の713名の方から1,877作品が寄せられました。ご応募いただいた作品は、地域を守る消防団員への熱いメッセージとなっており、本当に多くの作品をお寄せいただきありがとうございました。入賞作品の選考会を開催し、次のとおり入賞作品が決まりました。



**家事と火事
請け負う母の
二刀流**
千葉県 愛の花 様



**火の粉舞う
仲間とともに
守る街**
兵庫県 H・U 様

**子は見てる
汗かく背中
その法被**
矢吹町 ぼこびっち 様

**強くなる
仲間の絆
地元愛**
愛知県 さごじょう 様

**消防の
ママの敬礼
かっこいい**
静岡県 しまたろう 様

**炎より
熱き心で
街を守る**
愛知県 アサリちゃん 様

**防災の
知恵と技あり
消防団**
埼玉県 せみさん 様

福島県消防協会の令和8年度事業計画・予算が決定

福島県消防協会の令和7年度第4回理事会が令和8年2月17日(火)に開催され、令和8年度事業計画・予算などが決定されました。

令和8年度事業計画・予算の概要は、次表のとおりです。

なお、令和8年度の事業計画・予算は、公式ホームページに掲載します。

令和8年度事業計画（主要行事）

4月23日(木)	県協会支部事務連絡会議	杉妻会館
6月5日(金)	令和8年度福島県消防殉職者等慰霊祭	南相馬市(さくらホール)
6月6日(土)	第79回福島県消防大会	南相馬市(ゆめはっと)
7月16日(木) ～17日(金)	令和8年度東北地区消防連絡協議会	山形県山形市
8月30日(日)	第46回福島県消防操法大会	福島県消防学校
9月10日(木)	第45回全国消防殉職者慰霊祭	東京都(ニッショーホール)
9月25日(金)	第31回全国女性消防団員活性化北海道大会	北海道札幌市(札幌コンベンションセンター)
10月30日(金)	第31回全国消防操法大会激励交流会	東京都
10月31日(土)	第31回全国消防操法大会	東京都(東京臨海広域防災公園)
11月14日(土) ～15日(日)	令和8年度消防団訓練指導員研修(第1回)	福島県消防学校
11月	令和8年度女性消防団員等研修会	未定
2月13日(土) ～14日(日)	令和8年度消防団訓練指導員研修(第2回)	福島県消防学校
3月5日(金)	第79回日本消防協会定例表彰式	東京都(ニッショーホール)
未定	令和8年度団長等研修会	未定

令和8年度予算概要

○収入の部 総額	40,417,900円
・公益目的事業会計	19,913,600円
主な内容 市町村負担金	15,806,700円
県補助金等・日消助成金	3,018,000円
・収益事業会計(消防会館管理事業)	8,212,200円
主な内容 受取家賃	8,204,800円
・収益事業会計(共済事業)	9,331,200円
主な内容 日消事務費・助成金	9,310,000円
・収益事業会計(その他事業)	1,201,800円
・法人会計	1,759,100円
○支出の部 総額	44,958,900円
・公益目的事業会計	33,355,800円
・収益事業会計(消防会館管理事業)	4,131,800円
・収益事業会計(共済事業)	3,438,100円
・収益事業会計(その他事業)	1,428,300円
・法人会計	2,604,900円

火災共済に加入しましょう

まさかの時にお役に立ちます！



風水被害や地震等にも共済金や見舞金を支給

お問い合わせ
生活協同組合全日本消防人共済会
TEL 03-6263-9822 <http://www.shouboujin.or.jp/>

(機器協会員)

トーハツ消防ポンプ 消防用金具
モリタ式自動車ポンプ 消火器
ジェットホース 避難器具・保護具
消防被服 火災報知機
その他消防用品一式



本社 いわき市平字古鍛冶町4
☎(0246)23-1616(代)
FAX(0246)23-1979
白河営業所 白河市字大鳥居橋前83-14
☎(0248)23-3600
FAX(0248)23-4134

(機器協会員)

普通免許対応車両総重量3.5未満
CD-1型 ミラクルLight



人と地球のいのちを守る



株式会社 MORITA
モリタ宮田工業株式会社

〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町1丁目6番34号
仙台支店 TEL.022-785-8111
東北営業部 TEL.022-785-8113

(機器協会員)

福島市渡利字柳小路79番4
TEL(024)534-0255
FAX(024)534-6657

有限



あらゆるパッチ
盾・トロフィー
すべての記念品

消防関係印章のご用命は
当店にどうぞ

令和7年 秋の叙勲 (消防関係)

全国の受章者は、618名(瑞宝中綬章1名、瑞宝小綬章33名、旭日双光章4名、瑞宝双光章45名、瑞宝単光章535名)となっております。(発令7・11・3)

●瑞宝小綬章(1名) 元福島市 消防正監 佐藤 和彦

●瑞宝双光章(3名) 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防正監 小田切秀夫

●元いわき市消防団 団長 恩田 泰行 元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防正監 築取 正喜

●瑞宝単光章(20名) 元会津若松市消防団 分団長 飯塚 洋一

- 元鏡石町消防団 団長 稲田 幸吉
元川内村消防団 分団長 遠藤 定一
元白河市消防団 分団長 君島 正信
元下郷町消防団 副団長 木村 政弘
元郡山市消防団 副団長 日下 和彦
元檀葉町消防団 團長 小葉 金重
元本宮市消防団 團長 國分 宏明
元福島市消防団 分団長 今野 治男
元福島市消防団 分団長 紺野 保夫
元相馬市消防団 分団長 佐藤 博
元南会津町消防団 副団長 佐藤 洋一
元いわき市消防団 副団長 鈴木 英長
元川俣町消防団 副団長 高橋 恭司
元西会津町消防団 副団長 田中 英喜

- 元猪苗代町消防団 分団長 田原 幸雄
元郡山市消防団 副団長 橋本 行正
元いわき市消防団 部長 松崎 勇
元郡山市消防団 副団長 柳沼兵一郎
元福島市消防団 分団長 油井 定信

令和7年 秋の褒賞 (消防関係)

全国の受章者は、107名(紅綬褒章2名、黄綬褒章7名、藍綬褒章98名)となっております。(発令7・11・3)

●藍綬褒章(6名) 現瑞町消防団 副団長 井坂 和吉

●現本宮市消防団 副団長 遠藤 隆
●現須賀川市消防団 副団長 熊谷 勝幸
●現桑折町消防団 副団長 佐藤 浩幸
●現会津若松市消防団 分団長 二瓶 孝夫 副団長 湯田 和雄

第45回 危険業務従事者叙勲 (消防関係)

全国の受章者は、650名(瑞宝双光章315名、瑞宝単光章335名)となっております。(発令7・11・3)

●瑞宝双光章(9名) 元須賀川地方広域消防組合 消防正監 阿部 勉
元福島市 消防正監 阿部 洋孝

消防個人年金 消防員・消防職員だからこそ加入できる 将来の自分のための積立年金制度です 最長で70歳まで積み立てることができます お問い合わせ (公財)日本消防協会 年金共済部 TEL 0120-658-494 https://nissho.or.jp

- 元いわき市 消防司令長 江尻 光芳
●元福島市 消防正監 紺野 広幸
●元相馬地方広域市町村圏整備組合 消防司令長 佐々木久人
●元伊達地方消防組合 消防正監 佐藤 寿雄
●元伊達地方消防組合 消防司令長 佐藤 正幸
●元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防正監 高原 善一
●元会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防正監 戸倉 勉
●瑞宝単光章(3名) 元郡山地方広域消防組合 消防司令長 阿部 三男
元いわき市 消防司令長 薄葉 満
元郡山地方広域消防組合 消防司令長 村越 武

株式会社 平成 (機器協会員) 本社 / 〒971-8122 福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1 TEL 0246-58-0047(代) FAX 0246-58-0080 代表取締役 鈴木 庸平

(有)渡辺鉄工消防用品 (機器協会員) トーハツ消防ポンプ モリタ式消防ポンプ車 消防ホース・消火器 ミヤス自動車消火装置 避難器具・消防被服 鉄骨火の見櫓・他消防用品一式 田村市船引町北町通47 ☎(0247)820072

安全と防災 総合安全設備 総合防災設備 (機器協会員) 消防標識 防炎用品 カーブミラー 反射テープ加工 道路安全用品 各種標識 各種消火器 各種作業服 TORI トーアン株式会社 ☎963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎024(936)2050

福島消防資材株式会社 (機器協会員) トーハツ消防ポンプ・モリタ式自動車ポンプ・ジェットホース・キンパイホース・消火器・避難器具・火災報知機・漏電警報機 福島市五月町8-137 ☎(024)52115555

福島日野自動車株式会社 (機器協会員) 本社 郡山市安積町笹川字蜂田5番地1 ☎024-945-1665 郡山支店 須賀川市茶畑町25番3 ☎0248-63-7070 福島支店 福島市荒井北2丁目1-1 ☎024-593-0333 いわき支店 いわき市小名浜島字渡地6番地1 ☎0246-58-8181 会津営業所 会津若松市神指町大字北四合字横沼110-1 ☎0242-37-2233 相馬営業所 相馬市榎木字大園72番地5 ☎0244-36-0385 白河支店 西白河郡泉崎村大字泉崎字中核工業団地311-1 ☎0248-54-1035

総合消防設備 消防備品、消防設備点検、防火対象物点検 援護化学株式会社 (機器協会員) 代表取締役 滝田 吉宏 本社 郡山市図景1丁目17-24 (024)932-0440(代) 営業所 会津若松市建福寺前1-25 (0242)27-1056 営業所 二本松市郭内1丁目31-3

ISUZU いすゞ自動車東北株式会社 (機器協会員) 福島支店 福島市岡島字長岬6-7 ☎024(572)3663(代) 福島支店 ☎024(572)6414(代) 郡山支店 ☎0248(72)2020(代) いわき支店 ☎0246(58)4081(代) 会津支店 ☎0242(24)3455(代) 相馬営業所 ☎0244(24)3255(代) 本宮営業所 ☎0243(63)2660(代) 白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

福島トヨタ 自動車株式会社 (機器協会員) 福島市太平寺字沖高25 ☎(024)54612000